

# ダイエープロビス 株式会社

## DX宣言書

2025年6月6日  
ダイエープロビス 株式会社  
代表取締役社長 権瓶 浩司

### □ 経営理念

#### BUILD ! YOUR DREAMS

わたしたちダイエープロビスグループは技術と誠意でお客様の幸福と快適な環境をプロデュースします  
わたしたちは仲間とともに力を合わせ、変化する時代の風を感じ、可能性に挑戦します

わたしたちはお客様との信頼関係を大切に、サービスマインド豊かで、地域から愛される企業を目指します

### □ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 業務効率化とデータ活用による生産性向上を実現し、職場環境を整備します
- ◆ 社会の変化へ柔軟に対応できる体制を構築し、社員とともに成長し続ける組織を目指します
- ◆ DXの推進により付加価値を高め、その成果を給与や福利厚生の実施を通して社員に還元します

### □ DX戦略・施策

#### ➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年6月)

戦略 「業務効率化・生産性向上に向けた基盤整備」

- 施策
- ・ 重複作業(主にデータ入力や報告書作成)削減のため、システム間連携を強化し、業務フローを整備
  - ・ 部門間の情報連携強化と柔軟な業務対応力向上のため、情報共有ルールを整備
  - ・ 既存システムを活用し、大型物件における原価管理と積算業務の精度を向上
  - ・ 申請業務の効率化を図るため、ワークフロー・管理システムの移行と運用体制の整備を推進

#### ➤ フェーズ2(2026年7月 ～ 2027年5月)

戦略 「データ活用の推進」

- 施策
- ・ 案件進捗や工事原価などの情報を一元管理し、状況を一覧で確認できる仕組みを整備
  - ・ 新業務フローの定着に向けたマニュアル整備・勉強会・OJTによるフォローを実施
  - ・ DX推進への理解と実行力を高めるため、DX先進事例・業界動向を交え、DX推進方針を社内共有
  - ・ 各部門の推進リーダーを育成するため、管理職向けITリテラシー研修を実施

#### ➤ フェーズ3(2027年6月 ～ 2028年5月)

戦略 「継続的な業務改善」

- 施策
- ・ データを活用した業務改善サイクルを定着させ、業務改善のスピードと質を向上
  - ・ 工事原価や個別収支等一元化された情報を活用し、業績報告の迅速化とデータに基づく経営判断を実現
  - ・ 社員の気づきや意見を共有しやすい風土を醸成し、社員の声を反映した継続的な業務改善・DXを推進
  - ・ キャリアアップ意欲に応えるスキルアップ支援制度の整備と勉強会の継続的な実施により、長期的なキャリア形成を支援

### □ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・ 人時生産性 : 2024年度比 15%アップ(～2027年5月)